

平成29年度市民提案型パートナーシップ事業 実施報告書

木の实大好き 自然素材のクラフトを通じて
—— みんなちがってみんないい ——

報告会資料

団体名： YAMANEKO 楽舎



事業の目的について

- ① 伊豆の国市民を対象として、つるや木の実など、自然の素材をモチーフとしたクラフト制作を通じて、楽しみながら、然の豊かさ・素晴らしさ、大切に気付き、自然愛護の気持ちを啓蒙する。
- ② 特に伊豆の国の子どもたちを対象に、葛城山・水晶山のウバメガシのどんぐりや雑木林の様々な木の実やつるなど、身近で貴重な自然に触れることで、伊豆の国の自然についての理解を深めることにより、郷土愛の気持ちを育てる。

事業の内容について

クラフトワークショップ・教室は、主として伊豆の国市在住の子ども・大人を対象として募集し、伊豆の国市内の大仁くぬぎ会館・茅野っ子ひろば・伊豆の国アートビレッジ・オーキッド杉山など会場を借りて開催する。(伊豆の国市立花のYAMANeko楽舎では随時開催)

また、市内イベントにて、福島復興支援グッズを販売するとともに、自然素材を材料として万華鏡のワークショップを開催する。(手軽に短時間で作ることができるため)

(10月・12月は生涯学習課主催の行事にて子どもを対象としたクラフトワークショップ・体験教室を開催。)

役割分担

YAMANeko 楽舎 ⇒ ワークショップの計画・運営

伊豆の国市 ⇒ 広報活動への協力・助言事業への助言・情報提供

事業報告と成果

- | | | |
|-----|-----|----------------------------------|
| 6月 | 3日 | 定例会議 |
| | 10日 | 自然観察学習会(天城山) |
| 7月 | 3日 | 自然観察会(御殿場富士山麓)・定例会議 |
| 8月 | 1日 | きにゃんね大仁花火大会にて出店活動(自然素材の万華鏡) |
| | 8日 | クヌギ会館にてクラフト教室を開催(生涯教育課主催アイキッズ)★ |
| | 13日 | 温泉場お散歩市にてワークショップ(自然素材の万華鏡) |
| | 20日 | 富士山こどもの国にてクラフトワークショップを開催★(21日まで) |
| 9月 | 2日 | 自然観察学習会(千本浜公園)・定例会議 |
| 10月 | 7日 | 自然観察学習会(葛城山・水晶山)・定例会議 |
| | 14日 | 自然観察学習会(城山・水晶山) |

29日 茅野っ子広場にてクラフトワークショップ（生涯教育課主催）★

11月 4日 伊豆の国市オーキッド杉山の作品展示会に参加

5日 温泉まんじゅう祭りにて、出店活動（自然素材の万華鏡）

11日 自然観察学習会（さつきが丘公園・市民の森）

24日 福島県大熊町立小学校児童との交流活動として、自然素材の万華鏡作り★

12月

4日から21日 立花 YAMANEKO 楽舎にてクリスマスリースワークショップを開催

13日 大仁駅前まちすけにて、クリスマスリースワークショップ
（きにゃんね大仁夢追隊とのコラボ事業）

16日 クリスマスリース教室（生涯教育課主催アイキッズ）★

23～24日 富士山こどもの国にてクラフトワークショップ★

1月13日 ジオ学習会・定例会議

14日 温泉場お散歩市にてワークショップ（自然素材の万華鏡）

28日 クヌギ会館にて、クラフトワークショップ（ふるさと博覧会）★

2月 3日 定例会議

11日 温泉場お散歩市にてワークショップ（自然素材の万華鏡）

18日 大仁梅祭りにてワークショップ（自然素材の万華鏡）

3月 3日 定例会議

立花 YAMANEKO 楽舎にて、春のリースワークショップ（予定）

31日 函南道の駅ゲートウェイにてクラフトワークショップ（4月1日まで）★

YAMANEKO 自然観察会

メンバーの交流と自然への理解を深めることを目的に、基本的には会議と同日に行った。



9月

参加者5名。

千本公園で松の木の観察。クラフト用の石を拾う。



11月

参加者6名。

サワラとヒノキの違いを図鑑で確認したり、クラフトで使う木の実を拾ったり、ピジター参加の子どもも楽しんでいました。



1月

参加者7名。

ジオガイドの方にお話し、大仁駅周辺・水晶山・城山の学習会を開催した。

クラフトで使うどんぐりの中で、伊豆の国のウバメガシはジオ的にもたいへん意味のあるもので、ワークショップを開催する際、参加者に伝えることのできる、具体的なお話がうかがえた。

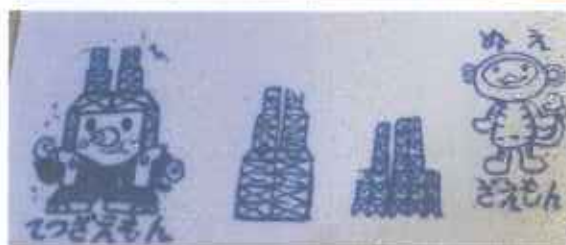
自然素材の万華鏡ワークショップ



温泉場お散歩市・温泉まんじゅう祭りなど、市内イベントで手軽にできるワークショップとして提供。

ドライにしたニシキギの赤い実・アジサイのブルー・ヒマワリの黄色・モミジの赤・究極の自然素材お茶など、柔らかな自然の色合いをチョイスして楽しんでいただいた。

筒の周り捺すスタンプは合計100種類でスタッフの手作り。一番人気はぬえざえもん。



クリスマスリースワークショップ

4日から21日の開催期間中、親子で、職場の仲間と、友達と、次々と予約をいただき、体験者は81名になりました。ワークショップの形態で、ジオ的にも価値のある伊豆の国市のウバメガシのどんぐり、くぬぎ会館のシーダーローズなどの説明を交え、自然の素材を使ったクリスマスリースや木の実のツリーを存分に楽しんでいただきました。



トロのいるクリスマスリース
 いろんな色の木の実や葉っぱ、花をつけま
 した。白くペイントされた柳にトロを3つ
 のせて、物語っぽくしました。わたで雪を表現
 します。木の実っておもしろい。(4年生)



自然のものを使ってツリーを作るのが楽し
 かった。「サルトリイバラ」がいろんなと
 ころにあるのがびっくりした。場所や陽のあ
 たり方で大きさや色がちがったり、いろい
 ろあって、かわいいと思いました。すごくか
 わいひのができました。(5年生)



サルトリイバラは台湾や伊豆の国市のもの
 があって、それぞれ大きさや形・色がちが
 っていました。ウバメガシが水晶山でとれ
 たのは、昔そこが海の近くだったからとい
 うのがわかってびっくりしました。植物には
 そこではえている理由もあって、同じ種類
 でも色や大きさがそれぞれちがっていて
 それを知るの楽しいと思いました。伊豆
 の国市には自然があるので、これからも残
 していきたいです
 (6年生)





基本的な作り方を説明した後は30~50種類くらい用意された木の实・葉・枝・花などの自然の素材をイメージに合わせてチョイス。同じ時間に同じ材料を使って作っても、一人一人の個性が光る作品が完成します。

みんなちがってみんないい。

大仁駅前まちずけにて（きにゃんね大仁夢追隊とのコラボ事業）

きにゃんね夢追隊の企画でのワークショップ。大仁商店会を中心に10名の参加。後日商店街を訪れてみると、お店に作品が飾られ、お正月用にリメイクされたものもありました。



今後の課題と取り組み

・目的にあったワークショップを市内の他団体とのコラボで開催し、内容の充実を図る。

・楽しみながら、自然の豊かさ・大切さに触れることができるような説明・展示方法のスキルアップを目指し、学習会または他団体との交流を行う。